

2016年1月21日

報道関係各位

株式会社メガネスーパー
JASDAQ・コード 3318

「見え方」と「掛け心地」にこだわった メガネ型ウェアラブル端末「b.g.(बीジー)」 「ウェアラブル EXPO」で展示完了のご報告と今後の展開について

株式会社メガネスーパー（本社：神奈川県小田原市、代表取締役社長：星崎尚彦、以下「メガネスーパー」）は、2016年1月13日（水）～15日（金）に東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催された「ウェアラブル EXPO」において、メガネ型ウェアラブル端末「b.g.（ビージー）」の商品プロトタイプ実機とそのソリューションに関する展示を行いました。

ブース展示では、プロトタイプ実機を活用例に応じたデモンストレーションコーナーを「次世代の物流ソリューション」「インバウンド観光ナビ」「ビーコン連動」「翻訳アプリケーション」の4つの分野で行ったほか、メガネスーパー・ウェアラブル端末の最大の特長である超望遠・視力4.0の実現する視覚拡張に関するパネル展示を行いました。

今回で二回目の開催となった「ウェアラブル EXPO」には、国内外から三日間で17,761名が来場し（主催者発表）、会場は大変賑わいました。その中でも、「b.g.」の見え方と掛け心地にこだわったメガネ専門小売チェーンらしい商品コンセプトと展示は大きな反響をいただきました。特に、他社とは一線を画するノンシースルーと両眼視を考慮したディスプレイによる「見やすさ」に対して、大変高い評価を頂きました。

今後は、より完成度の高いプロトタイプ実機の完成を2016年3月に予定しており、その後各分野での実証実験を行いながら年内の商品展開を目指し、本プロジェクトを引き続き展開していく予定です。また、今回デモンストレーションを行った4つの分野のほか、「医療」「エンターテインメント」「教育」などの新たな分野や海外での展開についても計画が進行しております。本プロジェクトの進捗に関しては適宜プレスリリースによりご案内してまいります。